

とがくしこうげん こしゃめく ぬまめく
コース10 戸隠高原・五社巡りと沼巡り

リーダー CL M/K

実施日 平成30年 5月14日(月) 天候 晴れ

グレード B

参加者 8人 (男性 2 女性 6)

コースポイント



ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		6:00	当日朝1名欠となり8名で出発
宝光社入口P	8:55	9:05	集合写真を撮り、歩き出す
宝光社	9:15	9:18	いきなり200段の階段をあえぎながら登る
中社	10:05	10:15	伏拝所、火之御子社を経由して。樹齢700年の御神木
鏡ヶ池	11:30	12:10	鏡ヶ池を背に西岳と戸隠山が聳える光景を見ながら昼食
随神門	12:55	13:05	参道にあるかやぶき屋根の赤門。樹齢400年の杉並木
九頭竜社・奥社	13:30	13:40	両社はほぼ同じ場所に位置している。背後は戸隠山
随神門	14:05	14:06	戸隠森林植物園の中を歩く
奥社入口P	14:55	15:15	上信道・北陸道を経由し帰路に就く
秋葉区役所前	18:20		ほぼ予定通り到着、無事解散できた

山行等概要(幹事のコメント)

- 一週間前から天気動向に一喜一憂し、12日によやく決行に意思決定できた。
- 当日朝に1名不参加(体調不良)の申し出があり、8名での出発になった。
- 昨年と同じ日に同コースを歩いたのだが、昨年ほどの感動は得られないだろうと思っていた。
- 前日が雨で当日が晴れという全く同じシチュエーションとなり、宝光社に近づくにつれて期待度が高まる。
- 予定された五社巡りを終えかつ、二つの沼、戸隠森林植物園の中を歩けたことは、とても幸いなことだった。
- 雪消えが早かった影響か、二輪草、水芭蕉、リュウキンカが多く見られた。特に二輪草の群落があちこちに見られたのは、昨年にはなかったことだった。
- 企画者はもとより、参加者全員に満足いただける一日になった。



宝光社入口、いざ出発!

戸隠高原・五社巡りと沼巡りに参加して

(1667) K/T

朝6時、リーダーを含む8名を乗せたジャンボタクシーは雨がまだ完全に上がり切らない新津を出発。予報では新潟の天気回復は遅れるが、長野方面は「晴れ」。

しかし米山SAでは小雨。上信越道を進む頃にはあたりは一面の霧に包まれた。「霧は晴れの前兆」とどなたかが周囲を励ますようにおっしゃったが、車内のテンションは今ひとつ上がりず。かの川中島の合戦の折、上杉謙信公が密かに軍を進められたのもこのような霧の中であったか。ともあれ車窓から空を見上げつつ「お日様、出てください。」と祈る。

ところが不思議。信濃町ICを降りてのどかな戸隠の里に入ったとたん、雲の切れ間から太陽が。現地に近づくとつれ曇りから快晴となる。さわやかなハイキング日和となった。

戸隠は霊山であり、戸隠神社は日本神話の中の「天の岩戸開き」に登場する神々を祀った五社から成ると言う。その五社を巡る山道が今日歩く戸隠古道。樹齢数百年というしめ縄を張った杉の大木に驚きながら、山道を歩き始める。新緑がまぶしい。まさに「緑のトンネル」であった。うぐいすがさえする。戦国時代このあたりは武田の忍びの者や諸国遍歴の妖しい山伏が往来していたのだろうな、と想像しながら歩く。

宝光社から始まり、それぞれの神社で小休憩を取りながら、小鳥が池、硯石と山中のビューポイントに立ち寄る。小鳥が池では戸隠連山の岩峰。硯石ではリーダーから「後ろ立山連峰です」と教えてもらう。眺めを堪能するとは、まさにこのことだ。

鏡ヶ池で昼食をとる。ここまで道路が来ており、観光客の姿も多数みられた。湖面の向こうには戸隠連山が間近に見える。空は青空、山は濃淡の緑色。お腹は満腹（いつもごちそう様です。）

昼食後は湿地帯の木道を歩いて奥社に向かう。水芭蕉、二輪草やリュウキンカ（教えていただきました）など小さな可愛い花が群生していた。そして有名な杉並木の参道。平日にも関わらず、やたらとカップルが多い。また戸隠神社の祭礼とかで白装束の方々も参拝していた。

かくして五社巡りの山道歩きは無事ゴールとなり、「いい一日だった」と帰路につく。

ところがこれまた不思議。高原から下るにつれ再び霧が立ち込める。高速に乗って県境を過ぎるあたりは行きと同様に霧の中。妙高山など全く見えない。視界不良である。ようやく高田近くになって晴れてきて、米山を眺めながら新津へと戻って行った。

霧がくれの戸隠。快晴のハイキングを堪能できたのは私たちの日頃の精進のたまものか？ いやいや、幹事様の神通力に他ならない。いろいろとお心遣い、ありがとうございました。



中社境内の樹齢700年のご神木



鏡ヶ池、バックは左が西岳・右が戸隠山



あちこちで見られた
二輪草の群落



参道中間点の茅葺屋根の随神門



奥社、五社巡りの終着点。後ろには戸隠山がのしかかる